

2026年2月10日  
株式会社日本政策金融公庫  
総合研究所

# 起業家の3割以上、パートタイム起業家※の半数以上が費用をかけずに起業

～「2025年度起業と起業意識に関する調査」アンケート結果の概要～

本調査では、起業した人を働く時間に応じて分析したほか、まだ起業していない人にも焦点を当てました。また、自ら事業を始めているにもかかわらず、事業経営者との認識をもたない人も、起業家と位置づけて調査しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

※本調査では、現在経営している事業に充てている時間が1週間当たり35時間未満である人を「パートタイム起業家」、同35時間以上である人を「起業家」と定義している。

<主な調査結果>

## 1 費用をかけずに起業した割合は起業家が3割以上、パートタイム起業家が半数以上(本文11ページ)

起業費用をみると、起業家では「費用はからなかった」と回答した割合が32.2%と最も高く、「50万円未満」も29.4%に上る(図-20)。パートタイム起業家では「費用はからなかった」と回答した割合が53.2%と半数を超える、「50万円未満」も36.8%を占める。

## 2 起業家、パートタイム起業家の7割以上が、現在の採算状況を「黒字基調」と回答(本文14ページ)

現在の月商が「50万円未満」の割合は、パートタイム起業家で91.5%と大半を占め、起業家でも68.3%と高い(図-29)。現在の採算状況が「黒字基調」である割合は、起業家(72.6%)、パートタイム起業家(74.8%)ともに「赤字基調」の割合(順に27.4%、25.2%)を大きく上回る(図-31)。

## 3 起業関心層の半数以上が「起業したい」と回答(本文18、20ページ)

起業関心層に起業の予定の有無を尋ねると、「10年内に起業する」(17.8%)と「いずれは起業したいが、時期は未定」(39.5%)を合わせた「起業したい」が57.3%となった(図-39(1))。起業関心層がまだ起業していない理由は、「自己資金が不足している」と回答した割合が48.4%と最も高く、「失敗したときのリスクが大きい」(29.1%)、「ビジネスのアイデアが思いつかない」(29.0%)と続く(図-41)。

\* 本調査の詳細につきましては、[こちらをご覧ください](#)

<調査の要領> ・調査時点:2025年11月

・調査方法:インターネットによるアンケート

・調査対象:全国の18歳から69歳までの

・回収数:3万8,017人

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:原澤、星田)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町ファインシャルシティ ノースタワー